

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】梶原町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
12	2006.4.27	18	2007.3.29	高知県	梶原町	4,860	236.51
構想の要約		(平成18年4月27日公表の構想を具体化するため、賦存量・利用量を最新情報に改訂)豊富な木質バイオマスの有効活用を図るため、チップ化又はペレット化することによって地域活性化等好循環の形成を目指す。また、土づくりセンターが更新時期を迎え、これを機に生ごみ、し尿、農業集落排水汚泥等廃棄物系バイオマスの地域内循環利用システムを構築する。					
構想に盛り込まれた事業		1.燃料製造事業(ペレット、チップ) 2.木質バイオマス熱利用事業(ペレット焚吸収式冷温水器、ボイラ一等) 3.木質バイオマスガス化発電事業 4.資源の収集・輸送事業 5.メタン発酵・堆肥等製造事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他( )		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成19-20年度、梶原町、生ごみ、野菜収穫残さ、生し尿、おが屑、林地残材等 堆肥化施設、木質ペレット製造施設の整備

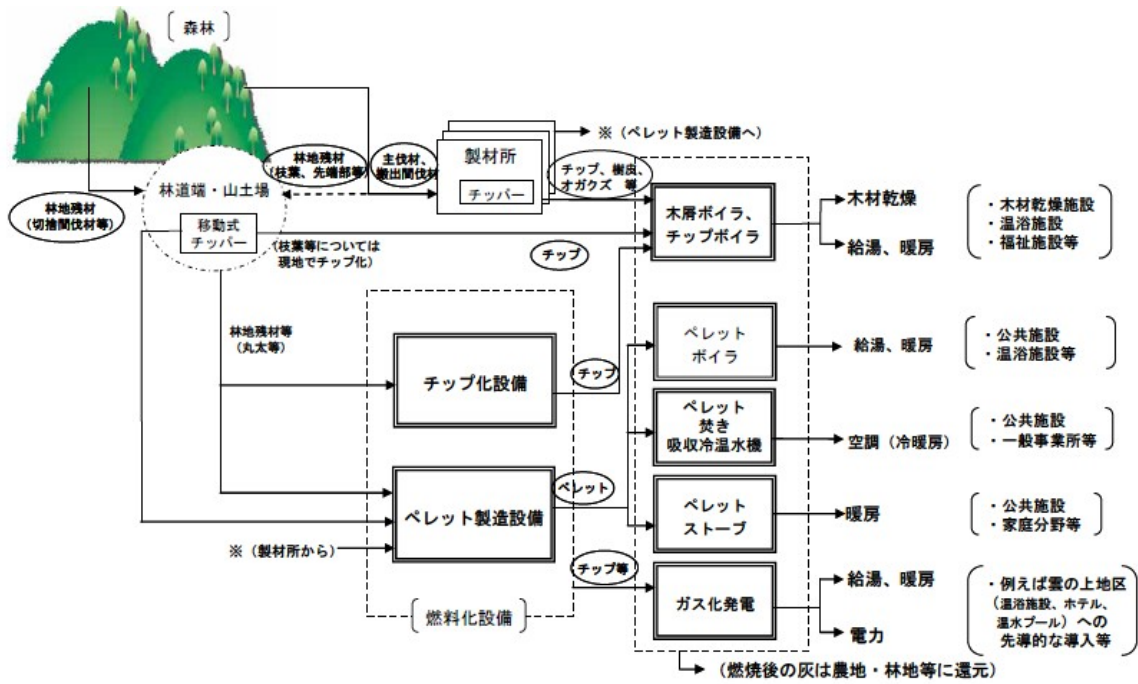
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

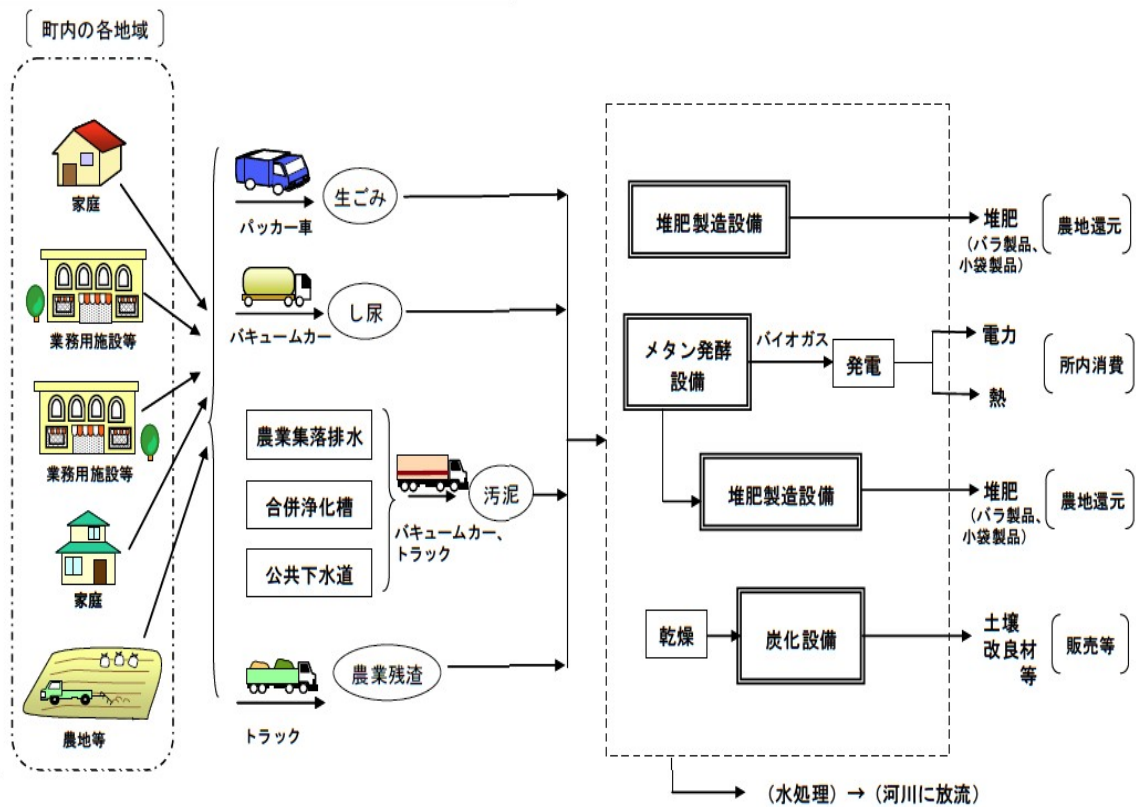
バイオマス	賦存量	変換・処理方法	仕向量	利用・販売	利用率	
廃棄物系バイオマス	生ごみ	約 390 t/年 メタン発酵、堆肥化、または炭化等 現地で堆肥化	約 60 t/年	メタン発酵発電→所内電力、 堆肥→農地還元、炭化物→販売等	100.0%	
	生し尿	約 900 m3/年 メタン発酵、堆肥化、または炭化等	約 330 t/年	農地還元	100.0%	
	農業集落排水汚泥	約 100 m3/年 メタン発酵、堆肥化、または炭化等	約 900 m3/年	メタン発酵発電→所内電力、 堆肥→農地還元、炭化物→販売等	100.0%	
	合併浄化槽汚泥	約 738 m3/年 メタン発酵、堆肥化、または炭化等	約 100 m3/年	メタン発酵発電→所内電力、 堆肥→農地還元、炭化物→販売等	100.0%	
	公共下水道汚泥	約 1,200 m3/年 メタン発酵、堆肥化、または炭化等	約 738 m3/年	メタン発酵発電→所内電力、 堆肥→農地還元、炭化物→販売等	100.0%	
	牛糞 (肉牛)	約 1,944 t/年 堆肥化	約 1,200 m3/年	メタン発酵発電→所内電力、 堆肥→農地還元、炭化物→販売等	100.0%	
	製材廃材	約 4,892 t/年 樹皮 (約 368t/年) その他廃材 (約 1,314t/年)	チップ (約 2,100t/年)	約 1,551 t/年	農地還元	79.8%
			オガクズ (約 1,110t/年)	約 2,100 t/年	チップ業者に販売、燃料	
			楠皮 (約 368t/年)	約 1,110 t/年	堆肥、畜産敷料・キノコ床、燃料	
			その他廃材 (約 1,314t/年)	約 368 t/年	燃料	100.0%
未利用バイオマス	林地残材(枝葉、先端、端尺等)	約 1,800 t/年 林道・山土場周辺に放置 (約 720t/年)	約 720 t/年	燃料	100.0%	
		約 17,779 t/年 林地内に放置	約 1,080 t/年	燃料		
	切捨間伐材	約 683 t/年 畜産敷料、堆肥化等	約 6,223 t/年	燃料等	35.0%	
	稲わら	約 90 t/年 肥料化施設副資材等	約 273 t/年	畜産敷料、堆肥化→農地還元	40.0%	
	ナスの残渣	約 114 t/年 堆肥化等	約 36 t/年	堆肥化→農地還元	40.0%	
	ミヨウガの残渣	約 66 t/年 堆肥化等	約 46 t/年	堆肥化→農地還元	40.0%	
	シントウの残渣	約 6 t/年 堆肥化等	約 26 t/年	堆肥化→農地還元	40.0%	
			約 2 t/年	堆肥化→農地還元	40.0%	
				約 2 t/年	堆肥化→農地還元	40.0%
				約 2 t/年	堆肥化→農地還元	40.0%

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



(注) 内の設備は、今後の詳細検討により決定する。  
 図. 木質バイオマスの利活用方法



(注) 内の設備は、今後の詳細検討により決定する。  
 図. 生ごみ・し尿・農業集落排水汚泥等の利活用方法

## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
事業の概要	